

平成 25 年度第 2 回（5 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 25 年 5 月 9 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 15 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、井戸田、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 出野、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（4 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 4 月 13 日に平成 25 年度日臨技臨床検査データ標準化事業全国代表者会議が開催され、平成 24 年度標準化事業報告と質疑応答および平成 25 年度事業計画の説明があった。
- ・ 平成 25 年度定時総会の議案および資料を作成した。

2. 近畿支部学会準備委員会

4 月 24 日（水）に第 1 回委員会を開催した。

- ・ 開催日程について検討した。
- ・ 会場について検討した。
- ・ 概算費用について検討した。

3. 事務局

〈総務部〉4 月 17 日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成 25 年度第 1 回定期総会について検討した。
- ・ 平成 25 年度大臨技会員証の発行について検討した。
- ・ 大臨技学生会員について検討した。
- ・ CMS 化対応について検討した。
- ・ レンタルサーバーについて検討した。
- ・ 大臨技ニュース事務局便りについて検討した。
- ・ 大臨技ニュース 4 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉4 月 17 日（水）に部会を開催した。

- ・ 25 年度事業費の送金等を行った。
- ・ 24 年度決算報告の会計監査を行った。
- ・ 2 月度収支計算書を作成した。
- ・ 事務員 4 月分給与及び事業費を送金した。

〈渉外部〉4 月 16 日（火）に部会を開催した。

- ・ 子宮頸がん検診啓発活動について説明した。

- ・ 看護の日の活動について説明した。
- ・ 手話講演会について討議した。
- ・ 平成 25 年度事業計画について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉4月18日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会（8/3 開催予定）の内容について検討した。
- ・ 多職種合同研修会（9/21 開催予定）の会場選定について検討した。

〈地区事業部〉4月18日（木）に部会を開催した。

- ・ マタニティカーニバル 2013（平成 25 年 7 月 6 日（土）～7 日（日）、場所：大阪南港 ATC ホール）の内容について検討し、大臨技ニュース 5 月号にボランティア募集チラシを同封することとした。

〈学部部〉4月9日（火）に部会を開催した。

- ・ 世話人参加費について報告した。
- ・ 日臨技事業登録について説明した。
- ・ 会計について説明した。

Ⅲ 他、報告

1. 日臨技総会について（運天会長）

- ・ 大臨技から日臨技総会に出席する役員は、運天会長、竹浦副会長、吉本副会長、荒木常務理事、清水理事の 5 名である。

2. 日臨技総会「議決権行使書（兼出席票）」の回収について（吉本副会長）

日臨技より定時総会成立に向け各都道府県に対し「議決権行使書（兼出席票）」の回収依頼があった。これを受け、4月30日に大阪府下の日臨技会員に対し文書等により下記依頼をした。

- ・ 日臨技会員が 10 名以上いる施設の施設連絡責任者宛にレターパックを送付し、「議決権行使書（兼出席票）」を回収後、5月19日までに大臨技事務所への返送を依頼した。
- ・ 日臨技会員が 10 名未満の施設の会員および自宅会員については、直接、日臨技へ 5 月 24 日までに送付するよう依頼した。
- ・ 大臨技ホームページに「議決権行使書（兼出席票）」の記入および提出方法を掲載した。

3. 第 1 回「平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会」準備委員会について（清水理事）

- ・ 平成 25 年 4 月 24 日（水）に標記委員会を開催した。
- ・ 出席者：運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、清水
- ・ 当学会は、支部事業運用に基づき、提出書類および決算書類を作成する。
- ・ 開催日程は、平成 27 年 10 月 17 日（土）12：00 から 10 月 18 日（日）17：00 まで、開催場所は大阪国際交流センターで、概算費用は、1,000 万円（人件費含む）である。

ここまで、

4. 大臨技学生会員について（栗本理事）

1) 総務・会計部会での対応案

- ・ 大阪府下の教育施設 4 校の学生数は、現在 802 名である。
- ・ 募集方法については、教育施設側で加入者名簿を作成し大臨技に提出してもらい管理する。
- ・ 年会費は 500 円程度とする。
- ・ 会員証については、大臨技会員証の発行もしくは学生証の利用を考慮している。

- ・ 学生会員へのメリットとして学生向け研修会等を開催する。
 - ・ 各教育施設の意見を聞く。
- 2) 理事会での意見
- ・ 学生向け研修会については、内容等を考慮すると開催が困難である。
 - ・ 先輩技師との交流を目的とした催しのほうが学生にとってはメリットがある。
 - ・ 多くの学生会員が研修会等に参加した場合、収容可能な会場の確保が困難である。
 - ・ 初年度は大阪府内の教育施設 4 校の学生を対象とする。
 - ・ 定款内の会員種別に学生会員を追加する必要がある。
 - ・ 来年度からの対応を目標とする。
5. 「平成 25 年度第 49 回小島三郎記念文化賞」候補者の推薦について（吉本副会長）
標記賞について該当者が無かったため、推薦を見送ることとした。
6. その他
- ・ 4 月 15 日の国会予算委員会において精度保証とデータ標準化が審議された。
 - ・ 4 月 20 日の総理大臣主催観桜会に日臨技宮島会長が招待された。

IV. 議 題

1. 平成 25 年度第 1 回定期総会について（吉本副会長）
- ・ タイムスケジュールに沿って説明があった。
 - ・ 本日までの会員からの委任状数は、2,122 票である。
 - ・ 各部会の決算書については、問題はなかった。
2. 組織運営規程について（運天会長）
4 月の理事会で提案した新・組織運営規程案について、最終検討し承認された。
3. その他
平成 25 年度日臨技定時総会の第 3 号議案「役員報酬等及び費用に関する規定の改正」について、検討および情報の共有をした。当理事会として総会に出席できない会員に対して書面表決を推奨することとした。

以上